

平成 22 年度 第 4 期 事業報告書

平成 22 年 7 月 1 日から平成 23 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 カーボンシンク

1 事業実施の全体方針

平成 22 年度の事業全体方針は以下であった。(平成 22 年度 事業計画書より)

発足以来、3 年間にわたり、「環境製品・サービス」「社会制度・仕組み」、「まちづくり」などの具体的なテーマに対して試行・検討を実施しつつ、官民の事業パートナー発掘を重ね、財団法人滋賀経済産業協会を主体とした SSBI (滋賀持続可能ビジネスイニシアティブ) との協働に着手できた。一方で、滋賀県や市町などの自治体との連携が進まず、テーマや地域の絞り込みが困難であり、新たな会員獲得も遅れている。

平成 22 年度は、SSBI や kikito など継続事業以外の新たな展開はひかえ、講演・講座やホームページ等を通じてカーボンシンクの趣旨や成果等の情報発信に努めることで、事業パートナーや会員拡大に重点化する。

2 事業の成果・課題

(1) 特定非営利活動に係る事業

「低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施」

① SSBI (滋賀持続可能ビジネスイニシアティブ) 事業

(計 画)

平成 22 年 4 月に (社) 滋賀経済産業協会、滋賀県立大学環境共生システム研究センター、滋賀県、(特活) カーボンシンク、4 団体は、協働実施するプロジェクトとして、SSBI を正式発足させた。SSBI の事業として、「中小企業向けの省エネ・コスト削減ガイド」を編集執筆し、県内企業の CO2 削減を支援。さらに、環境デザインをテーマとした研究会を開催し、ものづくりや情報発信など、環境プロダクト、環境経営などに関心の高い企業やデザイナーを発掘する。

(成果と課題)

- 削減ガイドは、1 冊にまとまり、表現も分かりやすく、ボリュームも手ごろなため、3,000 部印刷のうち、すでに 2,000 部を配布した。省エネを支援する専門家ネットワークづくりも着手し、中小企業支援の体制づくりが進んだ。
- 環境デザイン研究会は、企画立案したものの、来年度に延期となった。
- 滋賀県に対して、“まるごとオフセット提案”を行うことになったが、経済産業協会の環境委員会から時期尚早との意見もあり、エコエコノミーは、県との様子眺めの状況にあるため、直接、知事に提言するという SSBI の主張は断念した。企業・自治体を巻き込んだ「CO2 削減の大きな仕組みづくり」の実現は、困難な状況になった。
- 今後、SSBI は、意識・意欲の高い企業に個別診断、アドバイスをを行い、リーディングカンパニーづくりに重点化することになった。

「低炭素社会実現に向けた日常生活に関するアドバイスにかかる実態調査・分析及び情報提供」

② kikito（湖東地域材循環システム協議会）事業

（計 画）

kikito の CO2 固定認証制度を活用し、木製品や木造建築購入者の購入と長期的な利用を評価する仕組み（kikito バンク）の制度づくりと試行を実施し、地域材活用を支援する。さらに、CO2 吸収認証を用いて企業からの寄付金を、森林整備に充当する仕組み（仮称：カーボンシンクの森）づくりを検討する。

（成果と課題）

- ・固定認証を活用し、地域材を活用した木製品の需要拡大をねらう「kikito バンク」の基本的なシステムができ、kikito メンバー企業 2 社との試行事業も実施した。
- ・一般販売店に向けた kikito バンクシステム展開には、販売管理等の課題もあり、システムの電子化と対象商品の拡大を進めたい。
- ・カーボンシンクの森は、現行の仕組みでは、運営資金の確保が困難であるため、更に、検討を進めることになった。

「低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供」

③ 地球温暖化防止市民連続講座事業

（計 画）

低炭素社会づくりに関する、自治体職員や企業向けの自主講座を開催する。

（成果と課題）

- ・事業検討や予算獲得が進まず、実施できなかった。数年にわたり実施に至っておらず、この分野で、カーボンシンクが果たす役割について再検討する必要がある。

④ HP 立ち上げ等

（計 画）

本会の活動内容等を、ホームページにより情報発信する。さらに、紹介リーフレットの改正を行う。

（成果と課題）

- ・会員各人の多様な活動内容や考え方を発信でき、自治体や企業向けへのアピールを重視したホームページを作成し、公開することができた。リーフレット改正は、スケジュールの関係から翌年度へ持越しになった。

⑤ 環境をテーマとした英会話講座

（計 画）

環境関連の国際会議における“エクスカッション等”を運営する能力の習得と実施を目標に、少人数による英会話や関連学習を実施する。

（成果と課題）

- ・検討会議を経て、講師を招き定例ミーティングで調整を行ったが、講師の都合等もあり、実施には至らなかった。

(2) その他の事業

特になし

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施	①SSBI(滋賀持続可能ビジネスイニシアティブ)事業(旧称:SSBI 推進事業)	通 期	滋賀 県内	5 名	滋賀県内 100 社程度	1,194
低炭素社会実現に向けた日常生活に関するアドバイスにかかる、実態調査・分析及び情報提供	②kikito(湖東地域材循環システム協議会)事業	通 期	滋賀 県内	5 名	協議会構成 22 組織など	2,382
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	③地球温暖化防止市民連続講座 事業	-	-	3 名	-	-
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	④HP 立ち上げ等	2011 年 6月開設	事務 所	3 名	市民一般	378
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	⑤環境をテーマとした英会話講座	-	-	3 名	-	0

(2) その他の事業

特になし